

大切な暮らしがいつまでも続く幸せを

高強度免震パッキン

インフラ **UFO-E**



震度7が2度発生した熊本地震で

損壊被害0

住宅被害 155,902棟（全壊8,697棟）※2017年4月13日内閣府発表
熊本地震地域UFO-E仕様の住宅 30棟 ※開発元「SMRC様」調べ

1階の床の揺れから小さくなります

建物に伝わる揺れを床下から低減する分散免震効果により
ご家族が集う1階という大切な空間をより安全にできます。

間取りやプランニングに影響しません

床下に設置するので、お施主様がこだわった大型LDK等の
間取りやプランニングに影響しません。ご希望の家が建てられます。

共振現象から建物を守ります

近年明らかになってきた建物倒壊メカニズムの
大きな要因とされるのが共振現象です。
阪神淡路大震災、熊本地震で多くの建物倒壊被害をもたらしました。
UFO-Eを設置すると、変位・速度が不規則なランダム波となり、
共振現象が発生しづらくなります。





凍結に強く圧縮強度・耐摩耗性に優れる新開発の
硝子繊維補強エンジニアリングプラスチックを採用しました。

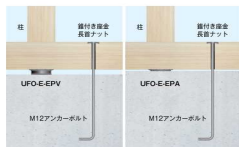
UFO-E-EPV 一般基礎・通気タイプ

UFO-E-EPA 断熱基礎・気密タイプ

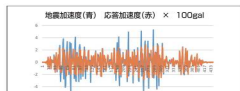


錐付座金ナットが使えるようになり施工性が向上しました。
安定した分散免震効果を発揮します。

設置イメージ(2×4-剛床-根太レス床組み錐付き座金使用時)



大型地震を震度5強へ分散免震



阪神3階大震(神戸港50%)で再現した震動実験データ(東京大学との共同研究)
地震加速度(青)が示している最大500gal以上に対し、UFO-Eの応答加速度(赤)は最大でも300gal以内で推移しており、高い分散免震効果が得られます。

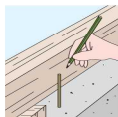


これまで設置箇所としていたアンカーボルトへの設置をやめ、
建物荷重の80%がかかる柱下へ集中的に設置します。
設置箇所が合理化され、トータルコストが低減しました。

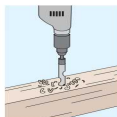


施工方法

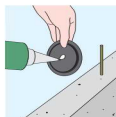
詳細は標準仕様書をご覧ください



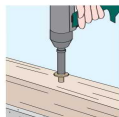
①土台下部からアンカーボルト用孔位置を漏出し



②土台下側から削孔



③接着剤を塗布して設置



錐付座金で締付

UFO-E 総販売元

OKADA
KOGYO

〒279-0002 千葉県浦安市北栗4-15-13
TEL 047-306-6002 FAX 047-306-6003
E-Mail: ufo-e@okada-mesh.co.jp

UFO-E 開発・製造元

SMRC株式会社